おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校　学校だより　第４号
令和５年７月２０日（木）
校長　福沢　俊之
℡　03（3831）3787
学校ホームページ

7月

http://www.taitocity.net/okachimachitaitou-jhs/
↑更新中

自分にあった学習方法を見つけるために

校長　　福沢　俊之

先日、テレビのニュースで、国際数学オリンピックが 20 年ぶりに日本で開かれ、日本代表６名全員がメダルを獲得、日本は参加 112 カ国・地域の中で６位であった、と報じられていました。金メダルを獲得した高校３年生は、一つの問題を解くのに何十時間も考え抜くこともあるとも話していました。

卓越した才能のある日本代表の面々のような世界レベルにはほど遠いのですが、私自身、中学生、高校生の頃は数学が好きで、時には１つの問題に時間をかけて取り組むこともありました。ただ、どうにも手がかりが見つからないとき、何度解き直しても正しい答えにならないとき、解法を見たいという衝動に駆られますが、そのようなとき、「答えを知ってしまった問題から得るものは何もない。」という言葉が頭を過るのです。この言葉を知ったのは、おそらく中学生の頃ではないかと思うのですが、どこで知ったのか、誰から聞いたのか、記憶は定かではありませんでした。ところが４年ほど前、新聞の書評を見て「おもしろそうだ」と思って買った本「数学の贈り物」（森田真生・著）に、「自力で解く前に解法を知ると、『それはもう解けない問題になってしまう。』」とあったのです。『　』は、世界的にも有名な日本を代表する数学者、岡潔（おかきよし）の言葉であるとのことでした。この言葉に出会うまで著者の森田さんにとって数学は、受験科目の一つに過ぎず問題集の解法をひたすら暗記してその試験を突破するものと考えていたとのこと、しかしこの言葉は森田さんに、初めて解答を閉じて問題と向き合うことを教えてくれたといいます。ただ、目の前にあるのは解答を書くための白い紙だけ、というのはとても怖いことであるとも書いていました。岡潔の言葉にある「問題」とは、国際数学オリンピックで出題されるような難問だけでなく、みなさんが解いている問題も同じだと思います。問題だけが印刷されていて、式も答えも書かれていないプリントと向き合うのは、しんどかったり不安になったり、投げ出したくなったりするかもしれません。しかし、自分の自由になる時間がある夏休み、計算の約束や図形の性質を思い出してチャレンジしてはどうでしょうか。失敗したりすぐに解けなかったりしてもやり直す時間を作ってみてはどうでしょうか。

先日、「上手な勉強の方法がわからないという悩みを抱える子どもは約７割に上り、この３年間で増加している」という新聞記事がありました。この記事には、「上手な勉強のしかた」が「わからない」から「わかる」に変わった子どもは、各教科の成績が上昇し、学習意欲も向上した、とありました。しかし、残念ながらこの記事には、どのようにして「上手な勉強のしかた」が「わかった」のか、については触れていません。

森田さんは、「わからない自分が白紙と向き合い、辛抱強く試行錯誤を繰り返しているうちに、ある瞬間『わかった』自分に変わる。それがどんなにとるに足らない発見だとしても、白紙から始めて、自力で何かをわかる瞬間の喜びは何事にも代え難い。」とも書いています。他者との比較でなく、まずは「自分なり」からはじめてみましょう。

裏面に続く

１学期表彰生徒

ソフトテニス部

〇台東区夏季大会男子団体戦第２位
　　男子個人戦第３位（２年２組　　、２年３組　　）
　　女子団体戦優勝
　　女子個人戦第２位（３年１組　　、３年３組　　）
　　→東京都大会出場！

バレーボール部

〇台東区夏季大会男子２位、第５ブロック大会３位、東京都大会ベスト１６
〇台東区夏季大会女子３位

第１１回角川つばさ文庫小説賞　こども部門

２年３組　　作品名「　　」

令和５年度 歯と口の健康に関する標語コンクール

歯科医師会長賞	３年１組	「マスク取り　笑顔で分かる　歯の健康」
歯科医師会賞	３年１組	「歯をみがく　それは心も　みがくこと」
歯科医師会賞	３年４組	「大事だな　はえかわらない　自分の歯」
佳　作	３年１組	「歯がキラリ　あなたの笑顔も　キラリとね！」
佳　作	３年１組	「白い歯で　みんなの笑顔を　てらそうよ！」
佳　作	３年１組	「休みの日　サボるな危険　歯磨きを」
佳　作	３年２組	「歯みがきで　つくる未来と　歯の健康」
佳　作	３年４組	「きみの歯は　命と同じ　価値がある」
佳　作	１年３組	「歯をみがき　笑顔も心も　ピカピカに」
佳　作	１年３組	「ピカピカだ　みらいのわたし　よろこぶね」

令和５年度 歯の優良生徒

優良者	３年２組	３年４組
準優良者	３年１組	
	３年２組	
	３年３組	
	３年４組	